

Origin パッチ リリースノート

Version 7.5J SR6 パッチ

February 2, 2006

本リリースノートは日本語 Origin/OriginPro 7.5 のサービスリリース 3 (SR3, v. 7.5853)と 5 (SR5, v. 7.5870)に対し、SR6 パッチプログラムを適用して得られるサービスリリース 6 (SR6, v. 7.5885) に関するものです。お持ちの Origin のバージョンを確認するには、Origin/OriginPro を起動し、その中から「ヘルプ：バージョン情報」メニューを選んでください。

Origin 7.5 で新たに利用可能となった新機能については、Origin 製品についてきます「Getting Started」マニュアルの第 3 章「Origin 7.5 の新機能」をご参照ください。また、本パッチ以前のサービスリリースのリリースノートは、<http://www.originlab.jp/index.aspx?pid=562> より閲覧ください。

目次

| | |
|-----------------------------|---|
| 日本語関係 | 1 |
| データ解析：曲線フィット | 2 |
| プロット | 2 |
| データ/イメージのインポート/エクスポート | 2 |
| グラフのインポート/エクスポート | 2 |
| インストール処理 | 2 |
| その他 | 2 |

日本語関係

(日本語 OS 特有): 文字ラベルをシンボルマップを使って入力する場合、入力できない文字(±やo等ドイツ語のウムラウト文字など)があったバグが修正されました。この修正に伴い2つのシステム変数、@FCと@FCMが導入されました。@FC=1(デフォルト)の場合、@FCM=1(デフォルト)であると、表示フォントが(±やドイツ語ウムラウト文字など)特殊な文字を除いて Windows OS のコードページに強制されます。@FCM=0 の場合は、このような例外は適用されません。@FC=0 の場合、(@FCM の値に係わらず) Origin は表示フォントをコードページに合わせません。
(ID 4050)

(日本語 OS 特有): インプレース編集により文字ラベルを入力する場合、括弧「(」が正しいフォントで表示できないバグが修正されました。(ID 7349)



OriginLab Corporation (800) 969-7720, (413) 586-2013
One Roundhouse Plaza Fax (413) 585-0126
Northampton, MA 01060 USA www.originlab.com

データ解析：曲線フィット

LabTalk プロパティ「**nlsf.iteroutcome**」が提供されました。このプロパティは「**nlsf.err**」に似ていますが、処理の成功・失敗に係わらず値を保持します。(ID 7660)

新しい Hill 関数「**Hill1**」が提供されました。これは次のように定義されます：

$$y = \text{START} + (\text{END} - \text{START}) * X^n / (K^n + X^n)$$

ここで、START は曲線の開始、END は曲線の終了(但し START より大きくても小さくても可)、x は濃縮 (concentration)、K は、酵素反応における Km、あるいは結合反応における Kd、n は Hill 係数、あるいは x 依存の協同性を表しています。

(ID 7691)

プロット

データリーダおよびマスクツールが、エラーバーを含むプロットに対し正しく動作するようになりました。(ID 7652)

グラフィケイヤーが121個のレイヤーを含むことができるようになりました。(ID 7659)

Origin が以下のような条件でも異常終了しなくなりました：1) グループを含むプロットである、2) グループ中のデータセットが削除された、3) 次いでプロットの変更を行うため「作図の詳細」が開かれる。(ID 7693)

複数レイヤーを含むグラフに対して、「作図のセットアップ」ダイアログで「再スケール」オプションが選ばれた時に、アクティブレイヤーが変更を蒙ることがなくなりました。(ID 7878)

データ/イメージのインポート/エクスポート

ASCII インポートにおいて、異なった長さの行を含むデータファイルの処理が正しく行われるようになりました。(ID 5338)

グラフのインポート/エクスポート

GIF エクスポートが、OriginPro 版だけでなく通常版 Origin でも提供されるようになりました。(ID 8063)

インストール処理

「ユーザファイル」フォルダに UNC パスが指定されたとき、Origin の起動時毎にコンパイル処理が行われなくなりました。(ID 6597)

その他

プリンタドライバのコンパチビリティの問題により、以下のような様々な問題が起こっていた問題が解決しました。

- ・グラフの軸が表示されない。
- ・「ファイルを開く」ダイアログで、選択したファイルが開かれない。(但し、エクスプローラで OPJ ファイルをダブルクリックする操作では問題ない。)



| | |
|---------------------------|--------------------------------|
| OriginLab Corporation | (800) 969-7720, (413) 586-2013 |
| One Roundhouse Plaza | Fax (413) 585-0126 |
| Northampton, MA 01060 USA | www.originlab.com |

- ・何も問題のないような単純なスクリプトの実行に失敗する。
- ・OPKファイルを Origin にドロップした時、アンパックに失敗する。
- ・メニューからのパック、アンパックに失敗する。
- ・Origin カラーリストのカラーが全て黒く表示される。

(ID 7463)

プロジェクト・エクスプローラのサブフォルダやウィンドウを作成したり削除したりした時、メモリーリークが起こっていたバグが修正されました。(ID 8368)

Origin がインストールされた時のバージョンの COM DLL よりも、新しいものが Origin に受け入れられるようになりました。(ID 8455)



OriginLab Corporation
One Roundhouse Plaza
Northampton, MA 01060 USA

(800) 969-7720, (413) 586-2013
Fax (413) 585-0126
www.originlab.com